

審査員からのコメント

アコヤ貝を用いた制酸薬の合成

アコヤガイ真珠養殖において真珠、貝柱としての利用後に残る貝殻の有効利用について検討した研究である。貝殻から合成するCa-Al系層状複水酸化物の制酸性としての利用価値が検討されていた。論文の背景では社会的意義や先行研究、目的が明確であった。実験方法は目的に対して適当であり、結論も結果に即したものであった。実験方法も丁寧に記述されていた。図表を効果的に用いており読者に対する配慮が感じられた。リサイクル素材からの医薬品合成には衛生面や不純物の存在による課題を克服する必要があるが、制酸性は他の用途でも利用できる可能性もある。

